

令和7年度 学校づくりビジョン

島本町立第二小学校

校長 佐々木 淳平

1 学校教育目標

「全ての子どもが安心して学び、自分らしく育つ学校を創る」

2 めざす子ども像

「自ら考え判断し、行動できる子ども（自律）」

「違いを理解し、対話を通して課題解決できる子ども（尊重）」

「豊かな発想を持ち、創意工夫できる子ども（創造）」

3 全ての子どもが自分らしく育つために必要な3つの力

(1) 「自分の考えをつくる力（自己表現力）」

(2) 「チャレンジする力（課題探究力）」

(3) 「人を大切にする力（社会参画力）」

- ・全ての子どもが主役になれる学校、全ての子どもが育つ学校を目指す。
- ・多様な集団の中での当事者意識を育む。
- ・人は違って当たり前。人と違うことを大切にする。
- ・10年後の社会で生きて働く学力を言語化した3つの力は、他者が評価できるものではなく、全て自己評価になる。

4 子どもの自律・尊重・創造を促すための教職員の関わり

- ・自律するために何が必要か、自他を尊重するためにどんな学びが必要か、創造するために教職員はどんな関わりが必要か、目の前の子どもから学ぶ。
- ・全ての教育活動において、3つの力を上位目標に置き取組む。
- ・困っている子どもと、その周りの子どもを対等につなぐ。
- ・子どもが当事者として、自分たちでトラブルを解決できるよう、対話の方法を教え、支援する。
- ・子どもが自分のことは自分で決めることができるよう支援する。

5 学校組織づくり

- ・一人の子どもの命を守り、目の前の困っている子どもが前向きになるために、教職員は人の力を活用できるようになること。
- ・困っている子どもが、困らないようにするために、チーム対応し、気付いたら瞬時に困り感を共有する職員室を創る。
- ・教職員が、自分から、自分らしく、自分の言葉で対話できる職員室を創る。
- ・非常変災時等の危機管理体制の確立と情報伝達ルートを明確にする。

6 地域に根付いた学校を創る

- ・子ども、教職員、保護者、地域の方々が当事者として、自分の学校を自分で創る。
- ・教職員、保護者、地域の方々等、多様な大人が手をつなぎ、子どもの学びと成長を360度から見守れる学校、地域社会を創る。
- ・全ての保護者が、全ての子どものサポーターになることで、子どもたちの学びの環境をより豊かなものにする。
- ・保護者にとって学校が居心地の良い場所、何でも相談できる場所、子どもと共に学ぶ場所となるようにする。